

「ひとはくがやってくる」 in 学校



封入標本づくりに取り組む先生たち
(加古川市)



地域実行委員会のようす (上郡町)



三江小学校での展示風景 (豊岡市)

2年目となるキャラバン事業「ひとはくがやってくる」は、今年も県下10地域で展開しました。昨年度と同様、それぞれの地域で地元の方々と地域実行委員会を立ち上げ、展示、セミナーなどを企画・運営しました。昨年の様子をご覧になった方や、ホームページを見た方から、「今年は私達の地域に来て欲しい」というリクエストを受けて行かせていただいたところも多くなりました。以下の表は今年度の一覧です。年度途中で依頼があり急遽キャラバンすることになったところもあり、地域によっては2カ所以上になるところもあります。参加者総数は80,000人を越えました。

今年度の大きな特徴は学校との連携を積極的に行ったことです。多くの地域で学校の先生に地域実行委員会に参画していただきました。加古川市の養田公会堂では、近隣の若宮小学校で事前研修を受けられた先生と一しょに封入標本づくりを実施、上郡町では、県立上郡高校農業クラブの学生が先生と一しょに地域実行委員会で企画から関わり、展示物も一しょにつくりました。豊岡市立コウノトリ文化館では、近くにある三江小学校へ出張展示、西脇市の北はりま田園空間博物館では、県立多可高校生が、総合学習の時間に「ハチの竹筒調査」を実施した他、キャラバン会場で寸劇を披露するなど大活躍でした。



多可高校 激田四季による寸劇
「日本昔話」(西脇市)

キャラバン事業の目的は「地域を愛する心を育み、地域の自然・環境・文化を未来の子供たちへ！」です。キャラバン事業における地域実行委員会運営は、この目的を達成するための将来にわたるパートナーづくりでもあります。その成果をみるには時間がかかりますが、今後も地域の方々と協力してすすめていきたいと考えています。よろしくお願ひします。

(シンクタンク事業室キャラバン担当 藤本真里)

表 「ひとはくがやってくる」実施場所一覧

地域名	開催期間	開催場所(展示)	テーマ	入場者数
神戸	6月7日(土)~6月22日(日)	兵庫県立六甲山自然保護センター	みんなの六甲山	1373
神戸	7月19日(土)~8月17日(日)	兵庫県立六甲山自然保護センター	みんなの六甲山	1839
神戸	10月11日(土)~10月26日(日)	県立神戸生活創造センター	みんなの六甲山	2057
東播磨	7月16日(水)~7月31日(木)	養田公会堂	ひとはくがやってくる in 加古川	3199
淡路	7月17日(木)~9月2日(火)	北淡町震災記念公園セミナーハウス	ワンダフル・カラー:自然色の世界	33941
西播磨	8月17日(日)~8月31日(日)	上郡町立中央公民館	川ガキの復活! 大好き! 千種川	2723
神戸	9月3日(水)~9月12日(金)	神戸市立成徳小学校	六甲山と六甲道	2110
中播磨	9月9日(火)~9月13日(土)	姫路市立青山小学校	むかしの生き物、いまの生き物、ギースココロ鳴く虫大集合	1634
中播磨	9月19日(金)~10月7日(火)	姫路市立伊勢小学校	むかしの生き物、いまの生き物、ギースココロ鳴く虫大集合	280
但馬	9月23日(火)~10月8日(水)	豊岡市立コウノトリ文化館・コウノピア/豊岡市立三江小学校	但馬の貴重な自然-レドデータブックの大地と生き物/ビックリ博物館-ひとはくがやってくる	9584
西播磨	9月27日(土)~10月2日(木)	上郡町立中央公民館	上郡町科学作品展に協力	406
中播磨	10月7日(火)~10月10日(金)	姫路市立水上小学校	むかしの生き物、いまの生き物、ギースココロ鳴く虫大集合	1558
丹波	10月13日(祝・月)~10月26日(日)	山南薬草園アヲヤ薬草ホール	漢方を育む加古川流域交流	2403
北播磨	10月22日(水)~11月6日(木)	北はりま田園空間博物館 体験学習室	田んぼ・くらし	3305
但馬	11月1日(土)~11月3日(月)	竹野町公民館	竹野町民文化祭	840
但馬	11月1日(土)~11月9日(日)	山東町中央公民館	山東町町制50周年記念事業	1428
阪神北	11月8日(土)~11月22日(土)	兵庫県立一庫公園	里山	3200
阪神南	11月15日(土)~11月30日(日)	西宮市立郷土資料館	山と海があるまち	1110
中播磨	1月10日(土)~2月15日(日)	兵庫県立歴史博物館	ひと・しぜん・ひょうご-白亜紀から現代まで-	4836
中播磨	1月17日(土)	夢前町立置塩小学校	平成16年防災訓練(地震関連の展示)	310
神戸	2月19日(木)~3月8日(月)	神戸市立西山小学校	神戸の自然と生き物たち 他	2190
合計				80326

展示の周辺

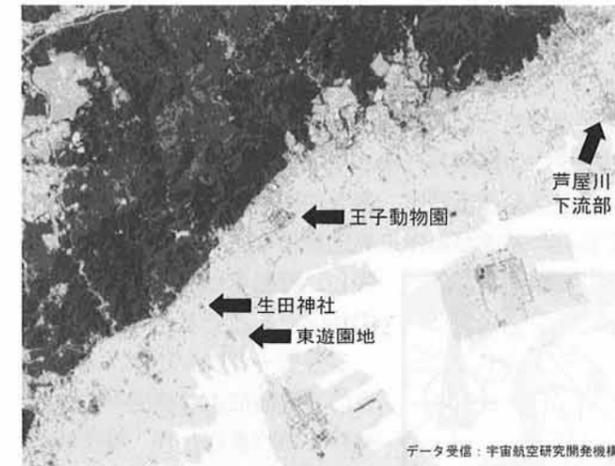
都市の中の人と自然 ~3F 調和と矛盾「都市化の問題」から~

みなさんは「都市」と聞くとどのようなイメージを描かれますか。多くの人々が行き交い、大きな建物が立ち並び、交通量も多いといった具合に、なかなか自然の要素である緑や水を思い浮かべることがないかもしれません。しかし、諸説があるものの、都市の起源は川の周辺に人々が生活の利便を求めてともに集まって住み始めたところにあるという説もあり、実は都市の中にもよく見れば自然の要素はあります。東京では、皇居や明治神宮などの比較的大きな緑地が中心地にありますし、大阪でも大阪城公園、中之島界隈に比較的多くの水と緑があります。また、地図には載らない水や緑もあります。大阪ではずいぶん埋め立てられたり、暗渠化(ふたをされること)されたりして、あまり目立ちませんが水路も数多く残されています。さらに、住宅地に入れば数多くの庭木や盆栽が道路際などに植えられているのを見つけることができます。最近では「屋上緑化」といって、ビルなどの屋上に芝などの植栽をする事例も増えてきています。このようによく見ると都市の中にも自然の要素があり、それらをうまくつなげることができれば、都市の中にいわば「自然の道」を作ることができます。



大阪の中之島の東から眺める大川。都市の中に水と緑の景観が広がっています。

それでは、都市の中に自然があるとどのような利点があるのでしょうか。これを都市に住む人間の視点から考えてみます。まず、水や緑が都市の中にあり、さらにそれを頼りに集まってくる生物が都市に増えることにより、多様で変化に富む都市景観が形成されます。季節によって表情を変え、風や



人工衛星データから計算した緑の指標(正規化植生指標)。濃いところほど緑が多い。
(Landsat ETM+ 20000825のデータより算出。元データは財団法人リモートセンシング技術センター提供のもの)

雨になびき、そして年月を経て成長する緑、常に流れ同じ表情を見せない水、こういったものは私たちの目を楽しませてくれます。また、都市環境の問題からも重要な役割を果たします。ヒートアイランド現象とよばれる、夏に都市が暑くなり、これに付随してさまざまな問題を引き起こす現象は、都市に一定量以上の緑や水があることにより緩和されます。このほかにもたくさんの利点があることでしょう。これからの時代、人と自然がどのようにおりあいをつけていくのかが、都市の課題となるといえます。

(自然・環境マネジメント研究部 客野尚志)

人と自然の博物館ニュース 「ハーモニー」No.45

平成16年3月31日
兵庫県立人と自然の博物館
〒669-1546 三田市弥生が丘6丁目
TEL (079) 559-2001 (代表)
FAX (079) 559-2007

博物館ではインターネット上でも情報を提供しています。
URL <http://hitohaku.jp/>

編集後記:

今号では博物館資料にスポットライトを当てた特集としました。博物館の資料に関わる活動は一般のお客様の目には触れにくいものですが、博物館の根幹をなす重要なものです。県民の皆様の一層のご理解と御支援をお願いしたいと思います。
(シンクタンク事業室 古谷 裕)

ハーモニーのバックナンバーは博物館のホームページ http://hitohaku.jp/publications_index.html でご覧いただけます。